

令和6年8月 岡山市教育委員会臨時会 会議録

1 開催日	令和6年8月6日(火)		
2 開会及び閉会	開会	14時00分	
	閉会	14時15分	
3 出席委員	教育長	三宅泰司	
	委員	上西芳樹	
	委員	片山美香	
4 会議出席者			
職名	氏名	職名	氏名
教育次長	岸川和忠	学校教育部長	斎藤靖
生涯学習部長	大谷哲子	教育企画総務課課長代理	山崎西郷
教育企画総務課指導主査	仲宗根篤史	学校施設課長	幸勲治
教職員課長	高井紀行	教育支援課長	竹中茂樹
保健体育課長	松岡恭一郎	教育研究研修センター所長	八木信英
中央図書館長	永田朱美	事務局 (教育企画総務課主事)	塩島修二
事務局 (教育企画総務課主事)	難波実佑		
5 議題及び結果			
議案 第18号	令和5年度岡山市教育委員会の事務に関する点検・評価報告書について 原案可決 て		
6 教育長等の報告	報告なし		
7 議事の概要			
教育長 全委員 教育長	<ul style="list-style-type: none"> ○ ただいまから8月岡山市教育委員会臨時会を開会する。 本日は、傍聴希望者が2名いる。入室してもらってよろしいか。 ○ 〈承認〉 ○ それでは、日程第1、会期について、本日1日限りとしてよろしいか。 		

全委員
教育長
教育企画総務課指
導主査

- 〈承認〉
- 日程第2、第18号議案を教育企画総務課から説明願う。
- 令和5年度岡山市教育委員会の事務に関する点検・評価報告書についてお諮りしたい。

この点検・評価報告書は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条により、議会への報告と市民への公表が義務づけられている。第3期教育振興基本計画の2年目にあたる令和5年度の事務について、点検及び評価を行うものである。

岡山市の教育行政サイクルをご覧いただきたい。今回、令和5年度の点検・評価の結果について、すぐに反映できるものは、令和6年の実施中の取組に反映させていく。また、新たに予算等が必要なものについては、令和7年度アクションプランに反映させていく。

続いて、令和5年度の重点事業について、2つの柱で整理をしている。1つ目の柱は、「やる気につながる好奇心の醸成」で、感染症対策等によって減少した子どもの体験の機会や他者との関わりを改めて充実させるための事業を中心にまとめたものである。2つ目の柱は、「持続的な教育の好循環の創出」で、子どもの学びを支える教育環境の充実及び人材育成に係る事業を中心にまとめている。

続いて、教育委員会の自己評価として政策ごとに行った事業評価について政策1を例に説明する。

施策の方向性の欄には、第3期岡山市教育振興基本計画の政策指標の実績値を令和3年度の基準時から経年で示している。

成果と課題の欄には、各事業の中から主立った内容を記載している。

各事業の指標と評価では、令和5年度の実績が目標値を達成している指標を丸で示している。令和3年度の実績値を基準値とし、令和5年度の実績値が0.5%以上上昇している状況を上矢印で示し、プラス・マイナス0.5%の範囲である状況を横矢印で、0.5%以上低下している状況を下矢印で示している。なお、0.5%の変動率で見る考え方は、市の総合計画の算出方法である。

政策ごとの自己評価の内容については、5月の教育委員会定例会後の協議で説明させていただいているので、本日は割愛させていただく。

続いて、教育委員会の自己評価を基に外部評価委員に作成いただいた外部評価書を掲載している。ちなみに今年度の外部評価委員は、くらしき作陽大学の福島治子教授、大和クレス株式会社の林美佐社長、岡山大学の吉利宗久教授の3名である。

続いて、7月5日に開催した外部評価委員との意見交換会でいただいた意見と、その意見を基に決めた今後の方向性について記載をしている。

主に重点事業の柱1に関わる子どもの好奇心を引き出し、広げ、やる気につながる取組の充実に向けて、ICTのさらなる活用促進のために、指導主事等の全校訪問による授業提案や教材提供を行うとともに、好事例の共有を進めていく。

不登校の未然防止及び早期対応のために、引き続き質問紙調査のアセスを活用した子どもの実態把握や積極的ないじめの認知に努めるとともに、端末を使った心の健康観察を新たに実施し、子どもの心の状態を早めに察知し、相談につながる取組を進めていく。

運動習慣の定着に向けては、全ての子どもが体を動かす楽しさや心地よさを実感できるような授業づくりを進めるとともに、小学校体育連盟や中学校体育連盟と協働して、子どもが休み時間や家庭で楽しみながら実践できる運動を紹介するコンテンツを作成し、子どもの自主的な実践を促す。

続いて、主に重点事業の柱2に関わる子どもの学びを支える教育環境の充実及び人材育成に向けて、令和7年度夏までに全小・中学校の特別教室等へ

<p>教育長 上西委員</p> <p>教育長 片山委員</p> <p>教育企画総務課指 導主査</p> <p>教育長 教育企画総務課指 導主査</p> <p>教育長 全委員 教育長</p>	<p>空調設備を整備するなど、子どもにとっても、教職員にとっても安全・安心で快適な学び環境を進めるとともに、中学校、義務教育学校の後期課程、高等学校へデジタル採点システムを導入するなど、教職員の負担軽減をさらに進めていく。</p> <p>また、教職員の研修に係る満足度が低下しているため、研修内容や方法の見直しを行うとともに、受講者の満足度が特に低かった遠隔研修の中に講師と受講者、受講者同士の双方向の活動を取り入れるなど、研修のさらなる充実を図っていく。</p> <p>本点検・評価報告書について、議決後は8月末の議会の常任委員会へ報告し、9月初旬にはホームページで市民に公開する。</p> <p>説明は以上である。ご審議をお願いします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 質問、ご意見等があればお願いします。 ○ 何度も検討を重ねた感じがあり、教育委員会での議論をしっかりと反映しているので、この内容でよいと思う。 ○ ほかによろしいか。 ○ 政策2に関わる成果と課題に関して、丁寧にまとめているが、課題が挙がっていないと思う。全部成果が出ているのはすばらしいことだが、課題と書かれているので、さらに高めるなど、さらによくしていくという形で、課題が見える展望のような記述があるほうが良いと思ったが、何かあれば。 ○ 協議のときにも同じような意見をいただいて、ここについてはコロナ禍も明けて、かなり成果が出てきているので、まとめとしてはそのように書かせていただいているところである。 ○ コロナ禍が明けて、ほぼ右肩上がりになったということであるか。 ○ そうである。下がっているところも、例えば犬島自然の家のカヤック体験等については、熱中症対策の関係で指数が上がると活動できないなど、やむを得ないものがある。オリент美術館の特別展の開催については、その前の年度の4,200人という数字がイベントによるものであり、通常の1,200人という目標値を達成している。そのようなところを加味して、今回はこのような書きぶりにさせていただいている。 ○ それでは、第18号議案を原案どおり可決したいと思う。よろしいか。 ○ 〈承認〉 ○ 原案どおり可決する。 <p>以上で本日予定していた議案の審議は全て終了した。 以上をもって令和6年8月教育委員会臨時会を閉会する。</p>
<p>傍聴の状況</p>	
<p>報 一</p>	<p>道 般</p> <p>2名 0名</p>